



ICT まちづくりデザインに関する研究経過報告会を開催

【概要】

ICT まちづくりデザインに関する研究経過報告会を、令和元年 6 月 7 日（金）に肥前浜宿（鹿島市）において開催し、地域住民の皆様へ取り組み状況を報告しました。また、研究対象である民泊施設へ宿泊し、翌日に現地調査を行いました。

【本文】

佐賀大学 ICT まちづくり防災デザイン研究所の研究対象地区となっている肥前浜宿（鹿島市）を令和元年 6 月 7 日（金）に訪問し、浜公民館において「ICT まちづくりデザインの研究経過報告会」を開催しました。本報告会は、昨年に引き続いて 4 回目の開催に当たり、この 1 年間に得られた研究成果を対象地区の住民の皆様へ報告するという位置付けです。佐賀大学側からは、総勢 28 名（内訳：教員 4 名、学生 24 名）が参加し、取り組み状況を報告しました。主な内容は、次のとおりです。

- 1) 景観デザインサポートシステムに関する研究
システム創成科学専攻博士後期課程 2 年・Rami Derbel さん（指導教員：三島 伸雄 教授）
- 2) 民泊事業サポートシステムに関する研究
都市工学専攻博士前期課程 2 年・山下航平さん（指導教員：三島 伸雄 教授・瀧上 貴由樹 助教）
知能情報システム学科 4 年・中村圭助さん（指導教員：中山 功一 准教授・上田 俊 助教）
- 3) 浜宿の危険箇所マップに関する研究
情報部門・岡崎 泰久 教授
- 4) 人工知能を用いた避難経路探索に関する研究
電気電子工学専攻博士前期課程 2 年・土屋裕大さん（指導教員：和久屋 寛 准教授）
- 5) 低平地の観点からみた高台避難に関する研究
都市工学専攻博士前期課程 2 年・峰雄大さん（指導教員：三島 伸雄 教授・瀧上 貴由樹 助教）

報告に引き続いて、地域住民の皆様との間で意見交換を行いました。なお、AI に関心がある鹿島高校の教員と生徒たちも見学に来ており、議論に参加しました。

その後、研究対象となっている肥前浜宿の民泊施設（ゲストハウス「あんど」と「まる」）において、宿泊体験を行いました。総勢 25 名（内訳：教員 2 名、学生 23 名）が宿泊し、研究に必要な情報収集、民泊事業の実状の把握を行いました。また、翌 6 月 8 日（土）は、肥

前浜宿の伝統的な町並みや建築物を中心に、現地調査を行いました。都市工学部門の三島伸雄教授が、都市工学の知識を交えながら、それぞれの歴史的背景や建築物の特徴を説明し、フィールドワークを行うことで、現地の特徴や問題点の把握を行いました。

なお、本報告会と宿泊体験の様子は、ICT まちづくり防災デザイン研究所の Facebook ページにも掲載されています。

(<https://www.facebook.com/sadai.ictdpd.project/posts/2419604318275371>)



会場（浜公民館）前での集合写真



研究経過報告会の様子



システム創成科学専攻 Rami Derbel さん



都市工学専攻 山下航平さん [左]
知能情報システム学科 中村圭助さん



情報部門 岡崎泰久教授



電気電子工学専攻 土屋裕大さん



都市工学専攻 峰雄大さん



ゲストハウス「あんど」



ゲストハウス「まる」



現地調査の様子（その1）



現地調査の様子（その2）